

3年生は、9月に「看護研究の実際」の科目で、ケーススタディの発表会を行いました。また、2・3年生は県内の看護学校13校、1700余名が参加する広島県看護学校研究発表会に参加して、学習の成果を発表しました。各発表会を終えての学びや気づきについて、ぜひご覧ください。

## 「看護研究の実際」ケーススタディ発表会を終えて



ケーススタディの論文を作成する過程では困難を伴いましたが、担当教員からアドバイスを頂くことや文献を活用したことで、根拠のある論文を作成することができたと思います。また、他の学生の発表を聴講することや自身のケーススタディに対する質問・講評を頂く中で、新たな視点にも気づき、学びを深めることができました。

今回、このような発表を行えたことは、自己の看護観をより明確にし、これまでの3年間の集大成として、とても良い機会になったと感じています。この経験を忘れず、看護師になっても常に学び続ける姿勢を大切にしていきたいです。

3年生代表 住吉 真愛



## 令和4年度 第65回広島県看護学校研究発表会を終えて

私は、広島県看護学校研究発表会の当校代表として、研究発表をする機会をいただきました。ケーススタディの論文作成では文献を用いて考察したことで、実習中には気づいていなかった新たな学びや発見が多くありました。また、先生方に何度もご指導頂いた過程にも多くの学びがありました。広島県看護学校研究発表会では、ただ論文を読むのではなく、スライドを作成し、きちんと自分の看護を相手に伝えることを意識しました。質疑応答では、事前にクラスメイトが質問を考えてくれて練習できたため、とても心強かったです。さらに、他の学生の発表を聴講したことや多くの学生の前で発表できたことは、私にとって貴重な体験となりました。今回、広島県看護学校研究発表会を終え、自己の看護を振り返り、看護観を深めることができたと感じています。

3年生代表 甲斐上 夏末

